

社会が動揺している時は、情報も玉石混淆になりがちです。新型コロナウイルス、「正しく怖れる」ことを心掛けたいですね。

ミグリーフケア Side by Side 「さばさ」 ㄱ のメールマガジン第 27 号をお届けします。

目次-----

- 1) スタッフのつぶやき
- 2) グリーフ体験談
- 3) イベントのご案内
- 4) メールマガについて
- 5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

1) スタッフのつぶやき

私が使っていた教科書に、交通が発展し、人の行き来が早く、広く、多くなれば、新興感染症はあっというまにパンデミックになると書いてありました。教科書は 10 年前の知識が書いてあります。ということは半世紀ほど前に、すでに今日のパンデミックは予見されていたわけです。エボラとか SARS とか MERS とかあったけれど、エピソードだったので私はすっかり油断していました。

COVID-19、そんなに強くないけど、相手の弱みに付け込んで大暴れする性格の悪いやつです。恐れず、慌てず、焦らず、そして、慎重に封じ込めに向かって、小さなことをこつこつ積み重ねて迎え撃ちましょう。なので、COVID-19 対策として、4 月 18 日の講演会は中止、19 日の面談だけ行います。

2) グリーフ体験談

仕事のボス、K 先生へ

2002 年 4 月 4 日

K 先生 巨大なフラワーアレンジメントありがとうございました。頂いた時つぼみだっ

た百合が花開いてきて、今、一層華やかさを増しています。

ホスピスには、様々なボランティアさんが出入りしていますが、なかには『園芸ボランティア』という、お花大好きおばさん達がいらして、私の部屋に届いた花々に目を輝かせています。萎れていく花を引っっこ抜くのが楽しみらしいのです。

この前やってきた事務所の誰だったかが、KA先生が持ってきて下さったお花とK先生が送って下さったお花を言い当てたんです。そして、K先生のを指して「さすが、大ボス・・・」と、一言。吹き出してしまいました。

ボランティアさんと言えば、毎日、3時にお部屋に手作りおやつを紅茶なんかと一緒に届けて下さるんですよ。そのとき、たまたまお客さんでいらして、お相伴にあずかるラッキーな方も・・・。

この前、たまたまUさんやSさん、Mちゃんがきてくれたのが『お花見会』の日で、病棟のお医者さんから看護婦さん、ボランティアさん総出で桜満開の中庭へ繰り出し、3時のおよつのは拡大バージョンを繰り広げました。全く寝たきりの患者さんでも、本人が行きたいと言えば、お部屋のベッドごと運んじゃいます。どこまでも“やりたいことをやる”の精神です。

本当に病院か？と思うのは、肺がん患者が喫煙室でおいしそうに一服しているのを見るときですね。部屋の外には、酸素ボンベ付の車椅子を待機させながら。もうすぐ死ぬ人に禁煙うんぬんを説く愚がなく、やさしさを感じます。

私もお休みの日などは、家族風呂に夫婦2人で、好きな入浴剤をいれて朝風呂を楽しんでいます。

24時間面会自由だったり、看護婦さんが夜中の巡廻に定期的に回ってもいいですかと尋ねてくれるんですよ。

このホスピスにはボランティアでいろんな演奏家の方がおみえになっているのですが、なかでもみんなの自慢は、ベルリンフィルのメンバーが、ここのリビング（パーティールームも兼ねる）で演奏会をしてくれたことなのです。まったくノーギャラで。

それで、難しいことを頼まれてしまったのです。

先日、私達は外出許可をもらって、ある落語家さんの主催する会に出席したのです。帰ってきてから、担当の看護婦さんに内容等を話して聞かせると、落語とか演芸なんかをボランティアでやってもらえないだろうか、いつも高尚な癒し系音楽会ばかりで、患者さんだけでなく、自分達も笑いに飢えていると言うのです。

ちょうど、落語家さん本人からメールをもらって、かれの携帯を教えてもらい電話で話したばかりだったので、もしかしたらお弟子さんでもボランティアできてくれないかなど、

私が気を揉むはめに。

でも、仮にもプロに、ボランティア出演を頼むのは気が引けます。一応、メールで趣旨だけ伝えましたが、はてさてどうなりますことやら。

しかし、どこにしようと、なんらかの役割が与えられることに感謝しています。この前、ひいちゃん(夫の愛称)から、K先生のメールを見せてもらいました。私の休職の話ですが、先生、できれば、しばらく休職扱いでお願いしてもいいですか。病状が落ち着いている間は、事務所の事務員として扱ってもらえると、私の心の中では、【うちの事務所】という表現が罷り通って、すなおにうれしいという、それだけのことなのですが。それと、退職金は、休職扱いをやめる時点で、考えていただければ結構です。実際の退職時期は、いま現在と考えていただくとして。無理なことがあればすぐにおっしゃて下さい。元々無理なお願いなのですから。

K病院のT先生ともメールでお話ができたり、全くメールのお陰で、心のうちを飾ることなく話せる自由が手に入って、幸せな病人です。

ホスピス一時退院は、13日の土曜日に延期しました。お見舞いにきて下さる方がいろいろいらっしゃって、6日だと早すぎたので。退院の延期も、主治医のA先生に「退院延ばしたいんですけど・・・」「いいですよ！」のやりとりで決まってしまう、話の早い病院です。K先生も一度ホスピス見学にいらっしゃって下さい。次回の入院の時でもいいですし。人生の終わり方のひとつの参考になるかも。

それでは、長々と書いてしまいましたが、また、メールします。

上山 きみ子

・・・「病床六尺」正岡子規より「今日、明日にでも死ぬのかという緊迫感より、それまでどう過ごそうか、どう過ごせばいいのか、どう過ごしたいのか、どうありたいのか こればかり考える日々・・・」

まさに私の知ってる彼女はホスピスより一時退院して自宅へ戻り 「毎日何をして過ごせばいいのか わからない・・・」と言っていた。

職を持っていた 彼女にとっては 死への恐怖感よりも 働けない自分を認めなければ

ならない辛さのほうが勝っていたのであろう。

施設ホスピスに家人と一緒に暮らしていたときに読んだ この正岡子規の「病床六尺」が
本当は 在宅医療を考えるテキストになるとは考えもしなかった。 上山 克彦

3) イベントのご案内 (予告なく変更することがあります)

■講演会&ワークショップ

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/news-event/>

・2020年4月18日(土) 「親の死を経験した時の心身のプロセス～心の専門家が自分を振り返る～」【さばさ】

演者：江夏亮さん

新型コロナウイルス感染症対策として中止させていただきます。

・2020年4月19日(日) 江夏亮さんによる個人面談

臨床心理士、公認心理師、日本ゲシュタルト療法学会スーパーバイザー、江夏心の健康
相談室主宰 (<https://enatsu-kokoro.com/>)

日時：2020年4月19日(日) 13時30分-14時30分 14時45分-15時45分 16
時-17時 申し込み多数の場合調整させていただきます。

対象：グリーフケアが必要だと感じていらっしゃる方はもちろん、なんとなく心がもやも
やす方、江夏さんの個人ワークを体験してみたい方、江夏さんから学びたい方もお申し込
みいただけます。複数人での面談はご相談ください。

費用：18日の講演会中止に伴い、一律 ¥10,000/50分 とさせていただきます。

※当日お支払いください。

場所：新大阪丸ビル別館 <https://marubiru-bekkan.com/> ※JR 新大阪駅東口より徒歩 2
分

※グランフロント大阪から変更となりました。

お申し込み：締切日を変更します。 HP のお問い合わせ <https://www.kazetoniji-clinic.jp/contact/> からご連絡ください。

3月31日(火)19:00 までに、HP のお問い合わせ <https://www.kazetoniji-clinic.jp/contact/>

から、1) 講演会参加の有無 2) 希望時間 3) 連絡のつくお電話番号 4) ご面談内容を記載の上、ご連絡ください。締め切り後、お電話で調整させていただきます。

・2020年10月10日(土) 仮題「傾聴とフォーカシング」

演者：池見陽(あきら)教授 臨床心理士 医学博士 関西大学 大学院心理学研究科教授

日時：2020年10月10日(土) 14:00~16:30 定員 90名

場所：大阪市内 詳細未定

概要：詳細未定

参加費：事前決済 3,500円(当日会場にて決済 4,000円) ※小学生以下無料

・2021年5月8日(土) 「親の死を経験した時の心身のプロセス～心の専門家が自分を振り返る～」【さばさ】

演者：江夏亮さん

臨床心理士、公認心理師、日本ゲシュタルト療法学会スーパーバイザー、江夏心の健康相談室主宰 (<https://enatsu-kokoro.com/>)

日時：2021年5月8日(土) 14:00~16:30 定員 90名

場所：未定

参加費：事前決済 3,500円(当日会場にて決済 4,000円) ※小学生以下無料

☆メルマガ割引あります! ☆

お問い合わせフォームかメールでの事前連絡+当日メルマガまたはご挨拶の提示で、当日決済から¥600引き!(他の割引との併用はご容赦ください。)

・2021年5月9日(日) 江夏亮さんによる個人面談

日時：2021年5月9日(日) 10:00~12:00 13:00~16:00

対象：グリーフケアが必要だと感じていらっしゃる方はもちろん、なんとなく心がもやもやする方、江夏さんの個人ワークを体験してみたい方、江夏さんから学びたい方もお申し込みいただけます。が、講演会参加者が優先となりますことをご了承ください。複数人での面談はご相談ください。

費用：8日の講演会参加者は ¥6,000 /50分 その他 ¥10,000 /50分 ※当日お支払いください。

場所：未定

お申し込み：5月8日(土) 19:00 までに、HP のお問い合わせ <https://www.kazetoniji-clinic.jp/contact/>

から、1) 講演会参加の有無 2) 希望時間 3) 連絡のつくお電話番号 4) ご面談内容を記載の上、ご連絡ください。締め切り後、お電話で調整させていただきます。

4) メルマガについて

■発行 不定期発行です。

■転送など

当メルマガは、グリーフケアがお役に立ちそうな方、そして、グリーフケアに興味がある方へ、

転送していただければ嬉しいです。抜粋・転載はご遠慮くださいませ。

■登録・解除

当メルマガは下記よりご登録することができます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1564754504144857>

ご登録していただくと、御礼のメールが配信されます。PDF ファイル付きです。

迷惑メールに入ってしまうことがありますので、ご確認ください。

登録時に提供していただいた氏名・住所などの情報は、風と虹の診療所の設立に関し、主に統計をとるために利用させていただきます。

また、下記より解除することもできます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mailmag/acc.cgi?id=1564754504144857&m=d>

■バックナンバー

風と虹の診療所設立準備委員会の HP の「メールマガジン」からご覧いただけます。

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/mail/>

■大切な人を病気で亡くされた方の体験談を募集しています。

ご協力いただける場合は「風と虹の診療所設立準備委員会」の HP にある

「お問い合わせ」からご連絡ください。

(当方で加筆・修正させていただくことがあることを御了承ください)

5) 風と虹の診療所設立準備委員会について

グリーフケア Side by Side 愛称「さばさ」と生きるための死への準備教育 (death education)

生老病死 愛称「わんまいる」は

風と虹の診療所設立準備委員会がプロデュースしています。

風と虹の診療所設立準備委員会

<https://www.kazetoniji-clinic.jp/>

Facebook ページ

<https://www.facebook.com/kazetonijclinic/>